

## 早稲田大学 政治経済学部 政治・経済 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	大問5つは例年どおり。政治3題に経済2題。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	地方財政と市町村合併	三位一体の改革と市町村合併というまさしく時事問題。現状だけでなく歴史も問われている。予備校の授業だけでは十分な対策は難しい。 問1・2は受験生全体から見れば高度な知識といえようが、この学部の受験生には標準となろう。そんな受験生でも問4・6は難しかったはず。複数解答もやっかいだ。	難
II	議院内閣制と大統領制	主要国の政治制度というと英米中心だが、フランス・ドイツの行政府のしくみまで学習しておけば対応できるであろう。韓国のしくみについてはニュースを見ていればわかる。	標準
III	憲法と人権条約	問2①は大学でも専門的な事項。問2③と問4-4・5のように年号についてもきめ細かく記憶しておく必要がある。	やや難
IV	中小企業問題	標準知識があれば対応できるはず。問5はニュースや生活体験から推定できる。	やや易
V	貨幣と金融	問3以外は標準知識で対応できる。問4③のような記述問題は確実に得点したい。	標準

### 〔総合コメント〕

<p>標準問題での取りこぼしは許されない。</p> <p>受験生のレベルを超える詳細な知識が求められる問題もある。どうかするとそこに目がいってしまい、標準知識(基本知識)をおろそかにしてしまいかねない。だがそれは、絶対にやってはいけないこと。高校教科書や資料集を丹念に読み解き、統計資料の数字などをきめ細かく覚える。この基本姿勢を忘れてはならない。</p>
--

